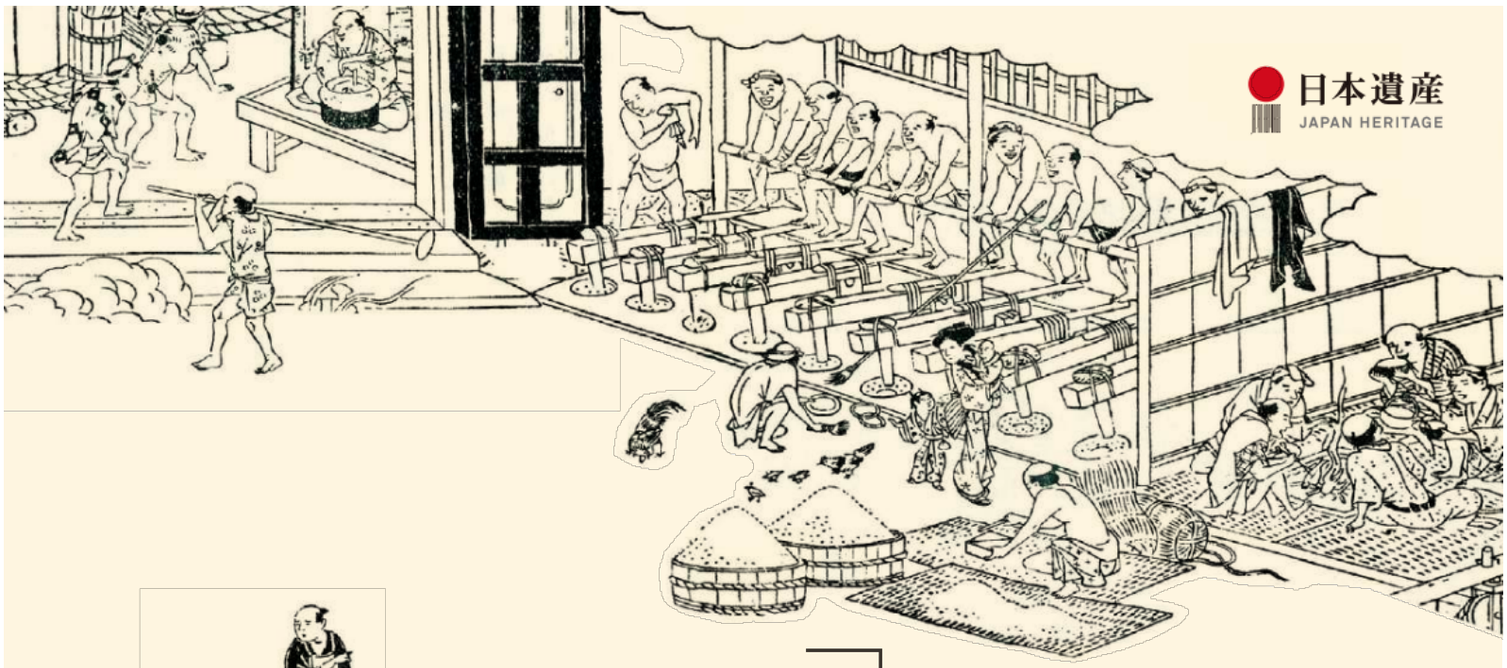


日本遺産
JAPAN HERITAGE

令和二年度
日本遺産認定

「伊丹諸白」と「灘の生一本」

下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市が申請した『「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地 伊丹と灘五郷』が2020年6月、日本遺産に認定されました。兵庫県は全国最多の日本遺産が認定されている県であり、さらに「日本酒」をテーマにした日本遺産は今回が初となります。400年前から今日まで、伊丹と灘五郷で伝統と文化が育まれている酒造文化の4つのストーリーをひもときながら、「清酒発祥の地」である伊丹や「日本一の酒どころ」灘五郷を歩いてみませんか?

宮水

— みやみず —

魚崎と西宮で酒造をしていた山邑太左衛門が、同じ仕込みにもかかわらず西宮の蔵で醸す酒の味が優れていることに気付いたことから、西宮の水は酒造に適した水、「宮水」と呼ばれるようになりました。この六甲山の伏流水は今も「天与の霊水」と呼ばれています。

山田錦

— やまだにしき —

山田錦は、大正時代に兵庫県立農業試験場で誕生しました。粒が大きいため心白（米の中心の白濁部分）が大きく、脂質やたんぱく質は少ないという酒造好適米の特徴を備えています。国内に約100種ある酒造好適米のなかでも「酒米の王様」と称されるゆえんです。

丹波杜氏

— たんばとじ(とうじ) —

丹波杜氏は南部杜氏（岩手）、越後杜氏（新潟）とともに日本三大杜氏のひとつです。丹波杜氏の酒造方法は硬水に適し、灘の酒造りにぴったりでした。丹波杜氏は灘の銘酒を作り上げただけでなく、全国に指導に行き、地方の清酒の原型も作りました。

JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化や伝統を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定しています。このストーリーにかかせない地域に点在する魅力ある有形・無形の文化財群は保存だけでなく、活用を重視し、地域活性化を図ることを目的としています。

ストーリー 1

「澄み酒」の出現と「伊丹諸白」

日本最古の酒蔵「旧岡田家住宅・酒蔵」（国指定重要文化財）

それまでの白く濁った「濁り酒」ではなく、「澄み酒」を生み出したのは鴻池でした。伊丹市鴻池の鴻池稲荷祠碑には山中家が初めて澄み酒を造り、江戸まで出荷したことが刻まれています。麹と掛米（もろみ造りに使う米）両方に精白米を惜しみなく使った伊丹の酒は「伊丹諸白」として珍重され、「下り酒」として江戸で大変な人気を博しました。江戸時代の名所案内記『摂津名所図会』にも「名産伊丹酒」として美酒を数千石造り、その多くが関東に送られていたことが記されています。

旧岡田家住宅 洗い場・釜場

山中家跡とされる場所に建つ「鴻池稲荷祠碑」

こうして伊丹は下り酒の名産地として名を馳せ、現在は「清酒発祥の地・伊丹」として知られています。江戸時代は天皇がおられる京（上方）から江戸へ送ることを“下る”と言い、“下り酒”もそのひとつでした。

散策ガイド

日本最古の酒蔵や商家が残る重点景観形成区域「伊丹郷町」や清酒発祥の碑などを「伊丹市文化財ボランティアの会」のガイドで巡ることができます。旧岡田家住宅や有岡城跡、伊丹郷町遺跡などを巡りながら、清酒発祥の地・伊丹を体感してみてはいかがでしょうか。

ストーリー 2

六甲山の恵みと丹波杜氏が生んだ「灘の生一本」

伊丹から清酒造りを導入し、江戸時代中期以降、「下り酒」の産地として台頭したのが「灘五郷」です。現在も西宮市の今津郷・西宮郷から神戸市東灘区の魚崎郷・御影郷、灘区の西郷と東西12kmにおよぶ日本最大の清酒酒造地帯で、日本酒生産量の1/4のシェアを占めています。

灘の酒の味を高める「宮水」が湧き出る井戸（西宮市）

灘五郷で醸造した清酒は「灘の生一本」「灘の男酒」と呼ばれ、その淡麗な風味が愛されています。この灘五郷でしか造れない味わいの理由として、まず西宮郷で汲み上げる「宮水」が挙げられます。宮水に多く含まれるリンやカルシウムなどのミネラルは麹菌や酵母の栄養分となるため酒造りに非常に適しています。また風味を損ねる鉄分が少ないのも特徴です。18世紀後半以降、さらに土地の利として酒米の精白に芦屋川などの急流を利用した水車を使い、高い精白度の酒米を得たことで日本酒の量産化を実現しました。また冬の季節風「六甲おろし」を利用するため酒蔵の向きを合わせ、窓の開閉で酒蔵の冷却や換気が効果的に行えたことも、灘五郷の酒造の発展に貢献。

えべっさんの酒醸造祈願祭を行うため西宮神社まで練り歩く様子

丹波杜氏に支えられた伊丹・灘の酒造技術「白鶴酒造資料館（白鶴旧本店壱号館）」

こうした六甲山の恵みはもちろんですが、酒造りに一番欠かせなかったのが六甲山の北、丹波地方から招いた「丹波杜氏」です。彼らは厳寒期に仕込む「寒造り」、発酵を促す「三段仕込み」など、技術や道具の改良を重ねて現代の清酒につながる酒造りのスタンダードを築きました。彼らが酒造りの作業に合わせて歌った「酒造り唄」は今でも新酒の蔵びらきなどで聞くことができます。

散策ガイド

酒造りが始まる10月には「宮水発祥之地碑」の前で神事が行われ、その後、西宮神社で「えべっさんの酒醸造祈願祭」が行われます。また白鹿記念酒造博物館や、菊正宗酒造記念館に展示している「灘の酒造用具」に丹波杜氏の工夫や技を見ることができます。

ストーリー 3

「下り酒」と「樽廻船」

樽廻船や酒造用具の展示をしている酒造会社も多い

下り酒を江戸へ届けたのは樽廻船です。灘地域は海岸地域にあったため、船積みの便に恵まれ、また大坂や西宮に樽廻船問屋ができたことで輸送体制も強化。陸地の輸送より大量の酒を出荷でき、江戸時代末期には1年で100万樽もの清酒が江戸へと下り、江戸の清酒需要の8割を供給するほどでした。こうして樽廻船は、明治時代にその地位を汽船や鉄道に譲るまで江戸へ清酒を送り、伊丹と灘五郷の江戸積み酒造の発展を支えました。

樽につめ、樽廻船で運ばれた清酒は樽の杉の香がうつり、運送中に熟成されて品質も向上しました。この樽作りの技術は「灘の酒樽製作技術」として国の無形民俗文化財にもなっています。

職人が実際に樽を作り、樽酒の魅力を伝える「菊正宗 樽酒マイスターファクトリー」

また熊野灘、遠州灘など、難所を航海する樽廻船の船倉に積んだ樽が荒波で壊れたり潮風で酒の味が落ちないよう、菰で包む菰樽も開発されました。この菰樽を作る技術は尼崎市内の企業が継承しており、菰樽は今では鏡開きなどの祝い事に欠かせないものとなっています。

初物好きの江戸っ子は、新酒をいち早く口にしたいと最初に江戸に入った酒に高値をつけました。そこで樽廻船を使って始まったのが「新酒番船」という競争です。江戸に一番に到着した船は「惣一番船」として称され、錦絵に描かれるほどの大人気の行事となりました。

現代まで継承されている菰樽作り

西宮の清酒の祭では惣一番の法被を着た新酒番船の水主が登場

散策ガイド

酒を積みだした港で樽廻船を見守ってきた今津灯台と尼崎市神崎の石灯籠は、金毘羅宮を勧請し航行の安全を祈願した常夜灯です。今津灯台は現役の木製の航路標識としては日本最古のものです。また西宮で開催される清酒の祭りでは新酒番船を模したパレードがあり、惣一番（一着）の赤い法被を着る水主の様子を再現します。

ストーリー 4

酒造家が育んだ文化

酒造家たちは江戸積み酒造で築いた富をこの地域の発展のために、芸術や教育、建築に注ぎました。御影郷の白鶴嘉納家の七代目・嘉納治兵衛は美術館設立のために古美術品を収集。昭和9年（1934）に開館した白鶴美術館には国宝2件、重要文化財22件を含む約1450点以上のコレクションが収蔵されています。また櫻正宗山邑家の別邸だったヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）は、東京の帝国ホテルを設計したアメリカの建築家、フランク・ロイド・ライトの設計です。六甲の山肌に沿うように建つこの住宅は、酒造家の進取の気風を伝える近代建築のひとつとして知られています。さらに酒造家たちは人材育成にも尽力し、御影郷の菊正宗嘉納家と白鶴嘉納家、魚崎郷の櫻正宗山邑家の志を受けて、灘中学校・高等学校が創設されました。

大正13年（1924）竣工の国指定重要文化財・ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）。

「旧辰馬喜十郎住宅」は西宮郷・辰馬家喜十郎が建てた擬洋風住宅

酒造家たちの文化へのまなざしは「阪神間モダニズム」と呼ばれる近代文化勃興の端緒となり、阪神エリアの都市の骨格を形作りました。六甲山系のふもとにある伊丹・灘五郷28蔵は、酒造技術の継承とともに、酒造家の矜持と進取の気風を生み、阪神間の文化の革新や近代化に大きく貢献しています。そして今なお、日本だけでなく世界中で愛される多彩な清酒を造り続けています。

昭和4年（1929）に酒造家の篤志によって創立された私立灘中学校・高等学校本館

白鹿辰馬本家が伝える灘の酒造用具を展示する白鹿記念酒造博物館

散策ガイド

国宝や重要文化財が楽しめる白鶴美術館や、酒造りの歴史を楽しく学べる「白雪ブルワリービレッジ長寿蔵」など、伊丹・灘五郷には酒造家のコレクションを展示する美術館や、酒蔵を利用した博物館など20のミュージアムがあります。酒造家の想いを体感しながら見学してください。

― 構成文化財一覧 ―

ストーリー 1 「澄み酒」の出現と「伊丹諸白」

❶ 摂津名所図会

❷ 日本山海名産図会

❸ 鴻池稲荷祠碑

❹ 旧岡田家住宅 附 棟札、釜屋及び洗い場絞り場

❺ 旧石橋家住宅 伊丹郷町遺跡発掘調査出土品等

❻ 小西酒造「長寿蔵」(白雪ブルワリービレッジ長寿蔵)

❼ 酒樽・桶づくり用具一式(樽丸づくり用具を含む)

❽ 近衛家会所関係資料

❾ 小西新右衛門氏文書

❿ 伊丹・酒造用具及び関係資料

⓫ 津国屋永代帳

⓬ 有岡城跡・伊丹郷町遺跡

ストーリー 2 六甲山の恵みと丹波杜氏が生んだ「灘の生一本」

⓭ 兵庫県の酒造習俗

⓮ 宮水発祥之地碑 宮水井宮水地帯

⓯ 芦屋川の文化的景観

⓰ 芦屋川水車絵図

⓱ 灘五郷・酒造り唄

⓲ 西宮郷・白鹿辰馬本家酒造本蔵 釜場遺構

⓳ 灘の酒造用具一式 附 酒造用桶・樽づくり道具一式

⓴ 西宮神社嘉永橋

㉑ 西宮神社瑞寶橋

㉒ 魚崎郷・櫻正宗山邑家酒造用具、酒造関連資料

㉓ 魚崎郷・浜福鶴酒造用具

㉔ 灘の酒造用具

㉕ 御影郷・菊正宗嘉納家酒関連資料及び樽酒マイスターファクトリー

㉖ 御影郷・白鶴旧本店壱号蔵出土遺物 白鶴酒造用具

㉗ 御影郷・神戸酒心館酒造用具

㉘ 沢の鶴株式会社大石蔵附灘の酒造用具一式槽場遺構

㉙ 灘の酒樽製作技術

㉚ 兵庫津・樽屋権兵衛家酒樽・桶づくり道具一式

ストーリー 3 「下り酒」と「樽廻船」

㉛ 兵庫津・酒造稼名前帳

㉜ 樽廻船関係資料

㉝ 灘酒造業関係史料

㉞ 史蹟當舎屋金兵衛港湾修築碑(西宮港)

㉟ 敏馬神社弁財船絵馬

㊱ 今津燈台 附 立札

㊲ 神崎金毘羅さんの石灯籠

㊳ 菰樽づくり技術

㊴ 矢野家住宅

㊵ 摂州伊丹酒樽銘鑑

㊶ 摂州酒樽薦銘鑑

㊷ 神戸大学海事博物館樽廻船資料

ストーリー 4 酒造家が育んだ文化

㊸ 芭蕉短冊他俳諧資料

㊹ なぎなた(修武館)

㊺ 賢愚経残巻(大聖武)甲巻 四百六十一行乙巻 五百三行 ほか多数

㊻ 白鶴美術館本館、白鶴美術館事務棟、白鶴美術館土蔵、白鶴美術館茶室(松庵)

㊼ 絹本著色安倍仲麻呂明州望月 円通大師呉門隠棲図 ほか多数

㊽ 旧辰馬喜十郎住宅

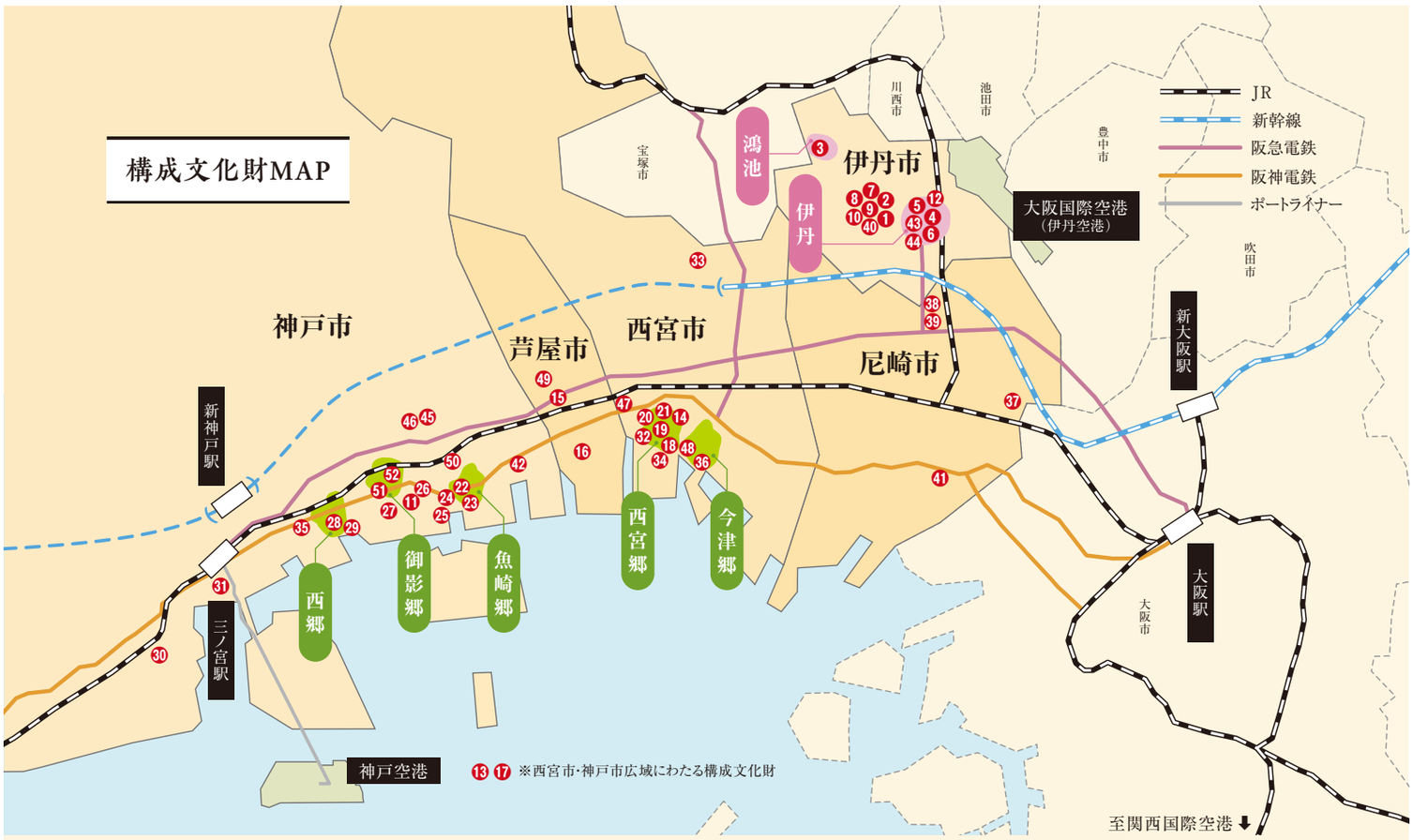
㊾ ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅)

㊿ 私立灘中学校・高等学校本館

51 甲南漬資料館(旧高嶋家住宅主屋)

52 御影公会堂

構成文化財について詳しくは「日本遺産ポータルサイト」をご覧ください。☞



1. 摂津名所図会（伊丹市立博物館）
2. 日本山海名産図会（伊丹市立博物館）
3. 鴻池稲荷祠碑
4. 旧岡田家住宅 附 棟札、釜屋及び洗い場絞り場
5. 旧石橋家住宅 伊丹郷町遺跡発掘調査出土品等
6. 小西酒造「長寿蔵」（白雪ブルワリービレッジ長寿蔵）
7. 酒樽・桶づくり用具一式（樽丸づくり用具を含む）（伊丹市立博物館）
8. 近衛家会所関係資料（伊丹市立博物館）
9. 小西新右衛門氏文書（小西酒造株式会社）
10. 伊丹・酒造用具及び関係資料（伊丹市立博物館）
11. 津国屋永代帳（剣菱酒造株式会社）
12. 有岡城跡・伊丹郷町遺跡
13. 兵庫県の酒造習俗（西宮市・神戸市広域にわたる構成文化財）
14. 宮水発祥之地碑 宮水井 宮水地帯
15. 芦屋川の文化的景観
16. 芦屋川水車絵図（芦屋市立美術博物館）
17. 灘五郷・酒造り唄（西宮市・神戸市広域にわたる構成文化財）
18. 西宮郷・白鹿辰馬本家酒造本蔵 釜場遺構
19. 灘の酒造用具一式 附 酒造用桶・樽づくり道具一式（（公財）白鹿記念酒造博物館）
20. 西宮神社嘉永橋
21. 西宮神社瑞寶橋
22. 魚崎郷・櫻正宗山邑家酒造用具、酒造関連資料
23. 魚崎郷・浜福鶴酒造用具
24. 灘の酒造用具（菊正宗酒造記念館）
25. 御影郷・菊正宗嘉納家酒関連資料及び樽酒マイスターファクトリー
26. 御影郷・白鶴旧本店壱号蔵出土遺物 白鶴酒造用具
27. 御影郷・神戸酒心館酒造用具
28. 沢の鶴株式会社大石蔵附灘の酒造用具一式槽場遺構
29. 灘の酒樽製作技術（灘の酒樽製作技術保存会）
30. 兵庫津・樽屋権兵衛家酒樽・桶づくり道具一式
31. 兵庫津・酒造稼名前帳（神戸市立博物館）
32. 樽廻船関係資料（西宮市立郷土資料館）
33. 灘酒造業関係史料（関西学院大学図書館）
34. 史蹟當舎屋金兵衛港湾修築碑（西宮港）
35. 敏馬神社弁財船絵馬
36. 今津燈台 附 立札
37. 神崎金毘羅さんの石灯籠
38. 菰樽づくり技術（（株）岸本吉二商店、（株）矢野三蔵商店）
39. 矢野家住宅
40. 摂州伊丹酒樽銘鑑（伊丹市立博物館）
41. 摂州酒樽薦銘鑑（尼崎市立歴史博物館）
42. 神戸大学海事博物館樽廻船資料
43. 芭蕉短冊他俳諧資料（（公財）柿衛文庫）
44. なぎなた（修武館）
45. 賢愚経残巻（大聖武）甲巻 四百六十一行 乙巻 五百三行 ほか多数（（公財）白鶴美術館）
46. 白鶴美術館本館、白鶴美術館事務棟、白鶴美術館土蔵、白鶴美術館茶室（崧庵）
47. 絹本著色安倍仲麻呂明州望月 円通大師 呉門隠棲図 ほか多数（（公財）辰馬考古資料館）
48. 旧辰馬喜十郎住宅
49. ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）（淀川製鋼迎賓館）
50. 私立灘中学校・高等学校本館
51. 甲南漬資料館（旧高嶋家住宅主屋）
52. 御影公会堂

阪神間日本遺産推進協議会

事務局：伊丹市総合政策部空港・広報戦略室都市ブランド・観光戦略課

〒664-8503 兵庫県伊丹市千僧1-1　TEL（072）744-2088

令和2年度文化資源活用事業費補助金観光拠点整備事業（地域文化財総合活用推進事業）

文化庁